

平成26年度包括外部監査の結果および意見の概要報告について
(高等教育機関における財務事務の執行について)

【結果】

項目	結果報告および意見	左記に対する基本的な考え方
[総合保健専門学校] 募集定員	総合保健専門学校は募集定員が120名に対し、近年は、80名程度の学生しか入学していない。本来、補欠入学者制度の導入等により募集定員に達するまで学生を受入れるのが本筋であるが、看護実習受入れ医療機関が80名程度の枠しか確保できないという現実の問題がある。その実態に合わせて募集定員を80名まで減らし、その募集定員に見合う人員体制・予算により効率的な学校運営を図る必要がある。	【総合保健専門学校】 近年、少子化に加え、京阪神における看護系大学の増加、看護職を希望する学生の大学志向により、京阪神に近い守山市にある総合保健専門学校の定員数120名を確保することが困難な状態です。 そのため、上記の課題等を踏まえた看護職員の養成のあり方を検討し、適切な学校運営を図ってまいります。
[看護専門学校] 入学者	看護専門学校は、平成19年に校舎を新築し恵まれた環境にあるが、合格者に対する入学辞退率が60%を超える状況となっており、結果、募集定員が80名に対しその80%程度の充足率になっている。募集定員を前提とした施設や人員配置、コスト等をムダに使用しており、効率的な学校運営ができていない。推薦入学、社会人入学の枠の拡大や補欠入学制度の導入等により入学試験の仕組みを見直し、募集定員に達するまで学生を受入れる対策が早急に必要である。	【看護専門学校】 定員確保については、平成28年度の入学試験から補欠入学制度を導入し、入学者の確保に努めてまいります。
[県立看護師等養成所] 組織目標について	県立看護師等養成所は組織目標の目標項目をより具体的に定め、行動計画に落とし込み改善を図る仕組みを検討する必要がある。	【総合保健専門学校、看護専門学校】 毎年、国家試験合格率100%を掲げているところではありますが、平成27年度は、新たに、総合保健専門学校では、推薦入学応募者数 1.5倍にすること、看護専門学校では湖北圏域の地域医療に貢献できる学生の確保のため、オープンキャンパスへの参加者を200名とするなど目標項目を具体的に定め、行動計画に落とし込むように改善しました。
[看護専門学校] 目標について	看護専門学校の目標項目に数値目標を定める必要がある。	【看護専門学校】 平成27年度の目標には、各項目ごとに数値目標を設定しました。今後も数値目標を定めた目標にしてまいります。
[健康医療課] 貸与金返還免除等の管理について	貸与金返還免除手続きにおいて、毎年の就業の確認を本人からの定期報告書によって行っているが、その際、就業証明書を出していない。猶予申請時および就業先変更時、返還免除時に就業証明書を受領しているとのことであるが、貸与金の性格上、貸与条件に合致しなくなった場合には遅滞なく資金返還してもらおうのは当然であり、手続上の見直しが必要である。	【健康医療課】 毎年の就業の確認を行うため、本人から提出していた定期報告書に、今年度から就業先の就業証明欄を設け、確認していくこととしました。

項 目	結 果 報 告 お よ び 意 見	左 記 に 対 す る 基 本 的 な 考 え 方
<p>【県立看護師等養成所】 入学者数が定員を大きく 割り込んでいる</p>	<p>総合保健専門学校、看護専門学校ともに入学者数が慢性的に定員割れしている。特に総合保健専門学校においては1クラス相当の定員割れを起こしている。実習先の確保、学生の受入れ実態を考慮して定員数を削減するとともに、それに応じた適正な教員数の配置を検討すべきである。 また今後、現状よりもさらに県立看護師等養成所への入学者数が減少するようであれば、県立看護師等養成所のあり方を再検討しなければならない。 (「第3 1.4 監査の結果「1.4.1 指摘事項」の「(4) [総合保健専門学校] 募集定員」及び「(5) [看護専門学校] 入学者」を参照願いたい。)</p>	<p>【総合保健専門学校、看護専門学校】 近年、少子化に加え、京阪神における看護系大学の増加、看護職を希望する学生の大学志向により、京阪神に近い守山市にある総合保健専門学校の定員数120名を確保することが困難な状態です。 そのため、上記の課題等を踏まえた看護職員の養成のあり方を検討し、適切な学校運営を図ってまいります。</p>
<p>【総合保健専門学校】 随意契約における複数者 見積徴取について</p>	<p>毎年行われている便検査とX線検査の契約については、3年間とも予定価格が100万円以下であることから随意契約が行われている。毎年3者に見積合せを依頼しているが、採用業者である滋賀県健康づくり財団以外の2者はいつも見積辞退であり、実質的には1者見積となっている。いつも辞退する者に見積書の提出依頼をしても、これでは複数者との見積合せを行ったとはいえない。実質的に複数者が見積に参加するよう、見積依頼先を増やすべきである。</p>	<p>【総合保健専門学校】 平成27年度は、見積依頼先を県内4事業者に増やし執行しました。その結果、2者は辞退し、1者から見積書が提出されました。残り1者は応答がありませんでした。</p>
<p>【看護専門学校】 随意契約における複数者 見積徴取について</p>	<p>毎年行われている学生肝炎検査業務委託の契約については、3年間とも予定価格が100万円以下であることから随意契約が行われている。毎年、見積書提出依頼は2者に行われているが、3年間とも同一業者であり、採用業者である滋賀保健研究センターだけが3年間とも同一内容の見積書を提出し、もう1者の近畿健康管理センターは3年間とも見積辞退である。2者のうち、同一の1者はいつも見積を辞退するのであるから、これでは複数者との見積合せを行ったとはいえず、実質的には1者見積となっている。実質的に複数者が見積に参加するよう見積依頼先を増やすべきである。見積依頼先については、総合保健専門学校と足並みをそろえて対処すべきであると考えらる。</p>	<p>【看護専門学校】 平成27年度は、見積依頼先を県内4事業者に増やし執行しました。その結果、2者は辞退し、2者から見積書が提出されました。</p>
<p>【県立看護師等養成所】 実地検査の方法と実施 記録について</p>	<p>備品などの現物を確認する際には、作業品質を一定し確認作業を改善していくため、責任者、確認対象、確認手順等を明示した実施マニュアルを作成する必要があるとともに、現物確認の実効性を高めるため、実施結果を実施票として提出する必要がある。</p>	<p>【総合保健専門学校、看護専門学校】 備品などの現物確認にあたって、実施結果の確認も含めた作業の手順書を総合保健専門学校、看護専門学校とも7月中に作成します。</p>
<p>【総合保健専門学校】 供用物品一覧表と備品・ 消耗品点検表等について</p>	<p>現物確認に用いられる備品・消耗品点検表および教材備品台帳には、本来の備品台帳である供用物品一覧表の物品番号が記載されておらず、供用物品一覧表との整合性が不明であるため、備品・消耗品点検表および教材備品台帳には物品番号を記載する必要がある。</p>	<p>【総合保健専門学校】 備品・消耗品点検表および教材備品台帳には、物品番号の記載を行います。</p>

項目	結果報告および意見	左記に対する基本的な考え方
[総合保健専門学校] 簿外資産の廃棄について	帳簿上は廃棄処理されていたが、現物が存在していた資産(ATOM胎児監視装置)については廃棄漏れのため廃棄する必要がある。	【総合保健専門学校】 帳簿上廃棄処理されていた資産(ATOM胎児監視装置)については、平成27年3月に廃棄いたしました。
[総合保健専門学校] 長期未使用の毒劇物について	利用予定がないにも係わらず長期間保有し続けている毒劇物が存在している。在庫確認時には、在庫量に加え、必要性の有無も管理責任者に確認し、保有リスクを回避するため、必要性がない場合には廃棄をしていくことが必要である。	【総合保健専門学校】 長期間保有し続けていた毒劇物(水銀)については、平成27年2月に廃棄いたしました。
[看護専門学校] 図書館のパソコンの更新について	図書館にあるビデオ教材を観るウインドウズXPを搭載したパソコンについては、インターネットに接続可能であるため、パソコン本体の更新などの対応を行う必要がある。	【看護専門学校】 平成27年度予算に計上しておりますので、速やかに機器の更新を行います。

【意見】

項目	結果報告および意見	左記に対する基本的な考え方
[総合保健専門学校] 設置について	総合保健専門学校の建物は老朽化しており、設置場所や建て替えも含めて検討する時期に来ている。近隣地域に多くの看護師養成所があり、看護師職員数の人口比の低い地域の看護師の担い手育成施設を検討すべきと考える。	【総合保健専門学校】 少子化に加え、京阪神における看護系大学の増加、看護職を希望する学生の大学志向により、今年度も定員数を満たしていない現状があるため、上記の課題等を踏まえた看護職員の養成のあり方を検討し、適切な学校運営を図ってまいります。
[県立看護師等養成所] OB等の活用	総合保健専門学校および看護専門学校は、県立の看護師等養成所として、そのOB組織を活用し、例えば卒業生からの相談対応や同窓会との交流を通じて、卒業生の看護師の離職防止やリタイヤしている潜在的看護師の復職等を支援するための仕組みを検討し、積極的に取り組むことが望まれる。	【総合保健専門学校、看護専門学校】 離職防止や復職支援については、県の取り組みとしてナースセンターで取り組んでいます。学校としては、卒業生に近隣の実習先施設への就業者が多いことなどもあって、従来から相談には応じています。また同窓会との交流の機会を活用して、引き続き支援等を行ってまいります。
[県立看護師等養成所] 中・長期計画	県立看護師等養成所の中・長期計画がなく、単年度の組織目標や目標項目が中・長期的な方向性とリンクしていない。将来構想を明確にして、中・長期計画を策定することが望まれる。	【総合保健専門学校、看護専門学校】 医療提供体制の状況を踏まえて、「県立看護師養成所のあり方専門部会」のなかで、中長期的な方向について検討してまいります。
[県立看護師等養成所] 評価制度	県立看護師等養成所は、将来的には第三者による評価制度を導入することが望まれる	【総合保健専門学校、看護専門学校】 両校ともPDCAサイクルによる自己評価を実施し、ホームページで公表しているところです。今後、第三者評価制度の導入についても検討してまいります。
[総合保健専門学校]授 業料計上額の検証につ いて	半期ごと、授業料計上額が適正であることを示す資料を整理し保管すべきである。	【総合保健専門学校】 平成26年度から、授業料の調定一覧を資料として整理し保管しています。

項 目	結 果 報 告 お よ び 意 見	左 記 に 対 す る 基 本 的 な 考 え 方
【健康医療課】 資金貸与制度とその管理	財政課に引継ぐまで催促等に時間がかかり業務が効率的でないと考えるので、返還遅延者については専門部署である財政課に早期に引継ぐほうが良いと考える。	【健康医療課】 返還遅延者については、催促を計画的に行い、専門部署である財政課に早期に引継ぐよう努めます。
【県立看護師等養成所】 不要および未利用品の活用および売却について	不要および未利用品についても他の施設での活用を求めていくとともに、活用されない場合でも単に廃棄とするだけでなく売却も検討していく必要がある。	【総合保健専門学校、看護専門学校】 不要および未利用品については、総合事務支援システムの掲示板「譲りますコーナー」を利用し、活用に努めています。また、活用されない場合も、単に廃棄とするのではなく、売却も検討していきます。なお、総合保健専門学校では、平成26年度に活用されていないピアノを売却しました。
【県立看護師等養成所】 蔵書リストの有効利用について	県立看護師等養成所の両校の蔵書種類について、医学書と看護学書が補完しあう状況で保有されているため、両校の書籍のリストを参照できるようにすることにより、蔵書購入に利用していくことが望まれる。	【総合保健専門学校、看護専門学校】 保健師助産師看護師学校養成所指定規則上、それぞれの学校で必要な図書を備えるのが原則です。それぞれの学校の教員がリストを参照するなど、教育指導上の情報共有に努めてまいります。
【県立看護師等養成所】 教材等の共同購入について	県立看護師等養成所の両校の教材等の購入に関して、共同購入できるものがあれば、両校を統括する健康医療課の協力を得て調達コストを下げることが望まれる。	【総合保健専門学校、看護専門学校】 該当する教材等があれば、健康医療課、両県立看護師等養成所とで協議の上、実施してまいります。